

# ハマって追っかけてトキメいて! この人がいるから、私はキレイ。



**奥田 暁**

宝塚歌劇団花組のトップスター。2010年、宝塚歌劇団創立100周年を記念して、宝塚歌劇団史上初の主演女優賞を受賞した。



**音月 桂**

宝塚歌劇団花組のトップスター。2010年、宝塚歌劇団創立100周年を記念して、宝塚歌劇団史上初の主演女優賞を受賞した。



**榎 礼音**

宝塚歌劇団花組のトップスター。2010年、宝塚歌劇団創立100周年を記念して、宝塚歌劇団史上初の主演女優賞を受賞した。

「ハマって追っかけてトキメいて! この人がいるから、私はキレイ。」というフレーズが、宝塚歌劇団の女性ホルモンを象徴している。宝塚歌劇団は、女性ホルモンをテーマにした多くの公演を行い、女性ファンを魅了してきた。その中でも、宝塚歌劇団のトップスターである奥田暁、音月桂、榎礼音の活躍が、女性ホルモンを盛り上げている。奥田暁は、宝塚歌劇団史上初の主演女優賞を受賞した。音月桂は、宝塚歌劇団のトップスターとして活躍している。榎礼音は、宝塚歌劇団のトップスターとして活躍している。このように、宝塚歌劇団の女性ホルモンは、女性ファンを魅了し続けている。

## 夢の世界にトリップした感覚になれる。 宝塚歌劇の舞台で女性ホルモン活性。 片桐衣理さん 肉片 美容医療雑誌

初めて観劇した時に、頭のとっぺんに相手が落ちたようなカタルシヤにショックを受けた。宝塚歌劇には作りかけられた日常の美しさがあるんです。理想の男性像、理想の女性像がそこにはあって、ショーの構成がドレス、メイクまでどれも完璧。東京の劇場での定期公演は月に3回から多い時は10回も行うでしょうけどハマっていきなると、どの観にも素晴らしい魅力の宝塚さんがいらっしやいますが、なかでも注目しているのはトップになる前から応援している星組の榎希礼音さん、雪組の音月桂さん、花組の美音羽菜さん。トップスターも素敵ですが、下級生からトップへ上りつめていく過程には鳥肌が立つほどの感動を覚えます。彼女たちは生活の全てを舞台に捧げているといつても過言ではないくらいということを知りたかった。休日も努力していますし、情熱的で無気力な気持ちで舞台に臨んでいるんです。宝塚歌劇の舞台は女性を夢見心地にするパワーがあります。異性ではないのにトキメキを感じられる不思議な世界。現実的ではないけれど、自分が女性であることを意識できて、いつでも枯れたいという。日常のストレスを忘れて心を浄化するエッセンスみたいなものです。



宝塚歌劇団花組のトップスター。2010年、宝塚歌劇団創立100周年を記念して、宝塚歌劇団史上初の主演女優賞を受賞した。

### 榎希礼音(星組)

華やかな笑顔を持つ男役トップスター。ミュージカルが『ロミオとジュリエット』(宝塚大劇場7/26、東京宝塚劇場8/13~9/12)出演中。

### 音月 桂(雪組)

宝塚の次期男役トップスター。ミュージカル『ロジエ』(宝塚大劇場7/26、東京宝塚劇場8/13~9/12)出演中。

片桐さんには宝塚歌劇の生徒からサイン入りカレンダーやポストカードが届く。この公演プログラムの表紙は星組の榎希礼音さん。

